



川口東小だより

学校教育目標 『夢が語れ 誇りを持ち 社会に貢献できる子どもの育成』

2025年(令和7年)9月22日

福山市立川口東小学校

校長 湯川 美貴子

児童会が学校をリードしています！



後期児童会のスローガン
堂々と大きな声で、伝えてくれました。
原稿なしで発表するって、かっこいいですね！



音楽発表会スローガン
10月25日(土)の本番に向けて、各学年、練習に取り組んでいます。
最近は、教室から、すてきな音色が響いてきます(^^♪

栗田先生に図工の指導をしていただきました



今年度、図工の指導が堪能なふくやま子ども造形教育研究所 理事『栗田美穂子先生』に絵の指導をしていただいています。こども達に分かりやすく、表現の仕方を教えてくださるので、みな、楽しくのびのびと絵を描いていました。右の写真は、完成した満足のいく作品を黒板に掲示しているところです。

日本教育公務員弘済会 学校研究助成金交付式



本校の教育活動が、『次代を担う青少年を育成する教職員が全員で取り組んでいる特に有益な研究』と認められ、学校研究助成金が交付されました。

書く力・読む力を高める授業づくり



自分の考えをまとめたノートを使って、友だちに説明している様子です。書いたり、読んだり、説明したりしながら、多面的に力を高めています。分かる（インプット）だけで終わらず、説明する（アウトプット）ことで、更に定着が深まることをねらっています。

さわやかウィーク（生活習慣を整えよう）

塾通いの低年齢化やスマートフォンの普及など夜更かしの要因は増えている。睡眠の「質」「量」とも十分に確保することは容易でない。

博報堂教育財団が全国の小4～中3で行った今年の調査では、小学生の3割、中学生の半数以上が夜寝るとき布団にスマホ、タブレット、ゲーム機といった電子機器を持ち込んでいた。9割強が「成長のために寝ることは大切だ」と認識する一方、「もっと夜遅くまで起きていたい」と考える子も6割を超えた。

スマホなどの利用ルールを作るだけでなく、なぜ守ってほしいのか、眠る重要性について丁寧に伝えていかねばならないだろう。本人の自覚と同時に、大人側も一緒に取り組む姿勢が要る。睡眠を大切にする社会へ、問題意識を広く共有していきたい。（山陽新聞 5月5日付 社説から引用）